【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年6月21日(2023.6.21)

【国際公開番号】WO2022/024950
【出願番号】特願2022-540263(P2022-540263)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/12(2006.01)
Ａ６１Ｂ　1/00(2006.01)
Ｇ０２Ｂ 23/24(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/12　５３１
Ａ６１Ｂ　1/00　７１５
Ｇ０２Ｂ 23/24　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年2月16日(2023.2.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７４】
また、本実施形態の内視鏡１０の先端面には流体誘導部６８を備え、流体噴出用ノズル４０から噴射された流体を、観察窓３４の両端部に効果的に流している。その際、図２及び図３に記載されているように、鉗子口４８が、流体噴出用ノズル４０に隣接して配置されていると、流体噴出用ノズル４０から噴射された気体が鉗子口４８付近まで、噴射されることになる。そのため、鉗子口４８が吸引した液体が、鉗子口４８に残った状態であると、流体噴出用ノズル４０から噴射された気体により、液体が引き出され、観察窓３４に液体が流れやすくなる。鉗子口隣接領域１０４を親水性とすることにより、鉗子口４８に残存する液体を、流体噴出用ノズル４０から噴射される気体の経路に対して、鉗子口４８を挟んで反対側の領域に導くことができる。これにより、鉗子口４８に残存した液体１１０が流体噴出用ノズル４０から噴射された気体により観察窓３４に移動することを防止することができる。